

福岡の1周タイム”も”3号艇に注目!

▼艇番&1周タイムランク別の1～3着回数

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
1号艇	846回	239回	90回	44回	22回	8回
	1,354回	461回	224回	95回	57回	28回
	62.50%	51.80%	40.20%	46.30%	38.60%	28.60%
2号艇	75回	85回	57回	26回	28回	10回
	382回	651回	457回	300回	199回	101回
	19.60%	13.10%	12.50%	8.70%	14.10%	9.90%
3号艇	74回	69回	68回	47回	45回	20回
	251回	375回	505回	395回	326回	174回
	29.50%	18.40%	13.50%	11.90%	13.80%	11.50%
4号艇	28回	32回	29回	39回	31回	23回
	175回	260回	341回	473回	415回	310回
	16.00%	12.30%	8.50%	8.20%	7.50%	7.40%
5号艇	10回	9回	16回	14回	17回	11回
	108回	188回	250回	411回	469回	443回
	9.30%	4.80%	6.40%	3.40%	3.60%	2.50%
6号艇	0回	5回	2回	4回	4回	7回
	0回	151回	228回	309回	441回	622回
	0.00%	3.30%	0.90%	1.30%	0.90%	1.10%
総計	1,033回	439回	262回	174回	147回	79回
	2,270回	2,086回	2,005回	1,983回	1,907回	1,678回
	45.50%	21.00%	13.10%	8.80%	7.70%	4.70%

表の見方



※データは2023年
 10月12日～2024年
 10月12日を集計

ちーちゃんの発言がヒント!

前号ではボートレース下関での1周タイムが着順に与える影響について研究を行ったが、もう一つ個人的に気になっているのがボートレース福岡だ。以前、福岡水面攻略のVTRを制作した際に、大山千広選手に「オリジナル展示タイムで特に気にする項目は？」と質問したところ、「博多は1周タイムを気にします！」と即答。この発言が印象的であり、福岡の1周タイムの重要性について調べたいと考えたのだ。

ボートレース福岡は3コースの勝率が高いことが特徴的で、過去1年のデータでは3コースの1着率が15・2%と全国的にも高い数値を示しているが、これはインが弱いことを意味するわけではない。福岡の1号艇1着率は55・8%で、全国平均と同程度の安定した数字を記録している。

過去の研究では、展示タイム順位が1位だった場合の1着率の高さが判明しており、福岡は全国で5位にランクイン。自動計測システムでのタイムの信頼度はピカイチだ。

今回も前回と同様に、1周タイムランク別の1着率を各艇番別に算出し、分析調査を行った結果をレポートする。

やっぱり3号艇がアチチ!

1号艇は1周タイムが1位の場合、1着率は62・5%と、大幅に1着率が上昇するが、3位以下になると一気に振るわなくなるのが特徴だ。サンプル数があまり多くはないのだが、コース平均で55・8%ある1着率が40%以下になってしまう。1周タイムの順位が1号艇の結果に与える影響の大きさを示していると言えるだろう。

一方で、3号艇のデータを見ると、その変化が非常に顕著だ。コース平均の1着率は15・2%だが、1周タイムが1位の場合には29・5%に跳ね上がる。およそ2倍というのは驚異的だ。また表にはないが、この際の3連対率は71・3%に達しており、安定感も抜群だ。

4号艇に関しては、1周タイムが1位の際、1着率が16%。コース平均9・4%と比べると大幅な勝率の向上が見られるがサンプル数が少なく、参考にするのは難しいかもしれない。

全体を通して見れば、福岡の水面においては1周タイムの順位が着順に与える影響は非常に大きく、下関同様、3号艇の1周タイムは特に注目して舟券作戦を立てていきたい。